

ベアリングバー式可動レール

取扱説明書

1. 使用目的

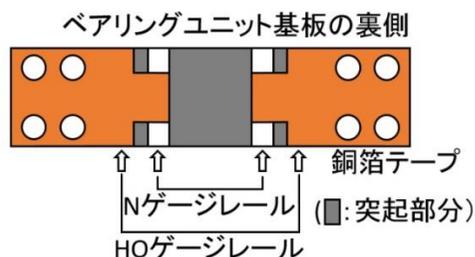
鉄道模型のレールのレイアウト上で各種の車輛を走らせる代わりに、キットの各種バーを既製品の直線レール上に乗せ、その上に鉄道模型車輛を乗せ、固定した位置で車輛の走行状態を見られるようにしたものです。

展示台キットを使用しますと、レールの上に乘せる不安定感を取り除けますし、合計 2 輛の車輛を低い目線位置に展示できます。

2. ベアリングホルダー間隔の調整

必要に応じて N ゲージと HO ゲージの車両用に各二本のねじを取り外して、外側:HO と内側:N の位置にベアリングホルダーを移動します。

3. バーの配置



バーの裏側には上の図のグレーの部分のような突起(ガイド)があり、通電が不要な車輪支持バー以外は導電テープが貼ってあります。N ゲージと HO ゲージのレール間に挟まるようにしてありますので、バーをレール間の中心に配置するようにしてください。



鉄道模型車輛のモーター駆動車輛やその台車は、実物をスケールダウンしたものですから、回転車輪の数や位置が異なります。ブロックに乗せる車輛の回転車輪がどの位置にあるかを前もって調べておきます。

車輛の裏側にギアボックスやギアが見えるのが普通ですから見当がつきますが、確認したい場合には車輛を上下逆に置いて、通電した線路にクリップコードを接続し、クリップを車輪に軽く当てるとわかります。前照灯・室内燈・尾灯などの電源を取っている車輪もありますので、併せてこれらもチェックします。

各車輪の先端が脱輪していないか、また二個のベアリングの谷間・通電リングの谷間・車輪固定切り欠きの谷間に落ち込んでいることを確認してください。ピンセットを使用すると作業が楽になります。

あとはレールに通電して動輪がスムーズに回転することを確認します。

バー上で走らせたい車両の駆動輪などの配置図(フートプリント)をあらかじめ作成しておく便利です。この場合、イメージスキャナの上に車両を並べて一括撮影する方法もあります。

(自作バージョン)